

たかはる

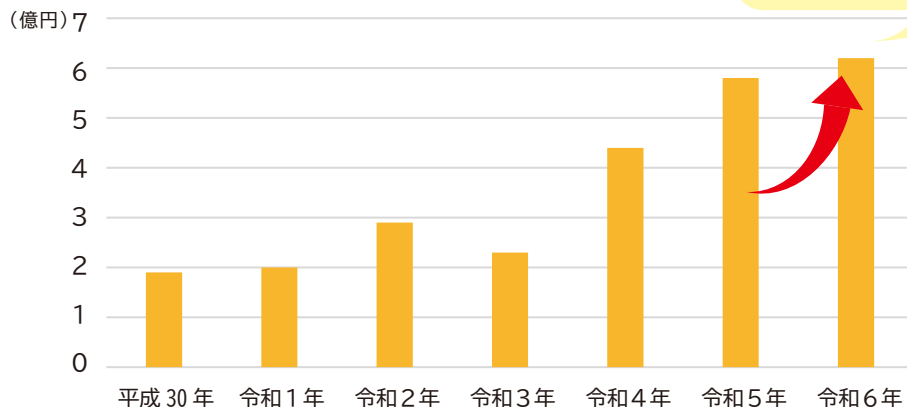
5

令和7年No.769
2025.May

5月の風、ただいま絶好運転中

3年連続！過去最高額更新！！ 納税額 6億 2,136 万円

前年度比較
約 3 千 400 万円 UP



4年度：19,647 件／
440,526,000 円

5年度：26,138 件／
587,267,400 円

6年度：29,747 件／
621,360,600 円

3年連続過去最高額更新

高原町は、おかげさまで令和6年度も多くのご寄附を集めることができました。

これもひとえに返礼品の提供事業者、配送事業者、本事業にご理解をお寄せいただく関係各位のお力添えにほかなりません。

改めて、皆様には心よりお礼申し上げます。

ふるさと納税を通して集まった寄附金は、子育て支援や、医療支援、産業支援など自治体の取り組み様々な事業に大切に活用させていただきま

す。

令和4年度より地域商社ツナガルたかはるが運営代行を務める本制度ですが、総務省による運営のルールの改定をはじめ、返礼品や配送料の価格高騰など、運用に伴う環境は年々ま

ぐるしく変化しています。

中でも今年の9月には、寄附に際するポイント付与の廃止が控えており、例年に増して、激動の1年になる事が予想されます。

高原町では、他自治体の取り組みや世相を見極めながら、新たな返礼品の開拓・開発、既存品のリニューアルや業務の効率化などを通して、本年度も堅実に寄附の募集に励んで参ります。

◆ 取 組

令和6年度中に地域商社ツナガルたかはるがふるさと納税業務で行った取組を紹介します。

●新規ポータルサイトの導入

イオングループが取り扱う『まいふる』、KDDI の擁する『auPAY ふるさと納税』をはじめ、『マイナビふるさと納税』、『ふるさぼん』、年末には『Amazon ふるさと納税』、『Yahoo! ふるさと納税』等の展開も行い、新たな寄附者層の獲得に努めました。

●返礼品新規登録の促進

新たな事業者の参入、既存の事業者の新製品やリニューアル等によって新たに 50 品目以上の特産品、サービスが追加となりました。

●ワンストップ特例申請のオンライン化の推進

令和5年の11月より本町でも導入を開始したオンラインでのワンストップ特例申請システムですが、情報の取り扱いの正確さ、処理の速さ、郵送コストの削減などの観点から、一昨年度にも増して寄附者への積極的な訴求を行い、手続きの7割以上のシェアを占めるまでに普及する事ができました。

●返礼品紹介ページの情報強化

既存の返礼品などでインターネット検索上埋もれがちになっていた返礼品の画像、品名・原稿の追加及び、キーワード対策等を施し、露出、寄附機会の増加を進めました。

◆ 寄附金の用途

頂いた寄附金は、町の発展のために次のような事業に活用しています。

子育て支援や、福祉支援、産業振興支援といった通常の寄附金に加え、その他の寄附金の用途を2つ紹介します。

● 高原町制施行 90 周年記念事業

10月6日、高原町制施行90周年記念事業として、『学校区世代間交流大会』や『高原町制施行90周年記念式典』を行い、地域の歴史と伝統を振り返りながら、これからの未来を築くための決意を新たにするためのイベントとなりました。また、町の歩みを振り返る町勢要覧も発行しました。



● 第49期囲碁名人戦

9月4日から5日にかけて奥霧島温泉郷で第49期囲碁名人戦7番勝負第2局が行われました。それに合わせて、町内温泉地でも特別なイベントが実施され、囲碁の魅力を存分に楽しむことができました。囲碁の文化を地域全体に広め、地域の観光資源としても大きな役割を果たしました。



◆ 新規返礼品

令和6年度から高原町ふるさと納税の新たな返礼品となったものを一部紹介します。



米の粉 ふわり
～ fuwari ～



オレンジピール
カトルカール



オリジナルピザセット
シリーズ



高原町産米粉チュロス



豚肉切り落とし &
ミンチセット



味付き骨抜き手羽先



手搾り果汁シリーズ



真鯛出汁塩仕立て
鶏唐揚げ

～この他にも続々ラインナップ中～



【お問い合わせ先】

奥霧島地域商社ツナガルたかはる(株)

☎0984-21-2639

mail: info@okukirishima.co.jp

出品者募集中!
まずはご相談ください



企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対し企業が寄附を行った場合に、最大で寄附額の9割が法人会計税から税額控除される仕組みです。

企業版ふるさと納税には、人件費相当分等を寄附することにより人材を派遣する『企業版ふるさと納税人材派遣型』の制度もあり、高原町ではその制度を活用することにより株式会社宮崎太陽銀行及びエムトラスト株式

会社から人材を派遣していただいています。

現在、高原町では、企業版関係人口づくりを強く推進しており、企業経営者等により、企業版関係人口づくりを強く推進していただき、直接的に課題に触れ、その解決策の模索や企業マッピング、高原町の事業展開を行っ

企業名	寄附金額
あさひ生コン株式会社	2,000,000円
株式会社原田建築塗装	100,000円
非公表	非公表
株式会社サザンクロスシステムズ	500,000円
株式会社カンパイ	1,000,000円
非公表	500,000円
非公表	非公表
株式会社 日光製作所	非公表
エムトラスト株式会社	10,000,000円
株式会社KUOE GLOBAL	非公表
タレントスクエア株式会社	100,000円
株式会社宮崎太陽銀行	非公表
非公表	非公表
合 計	50,021,000円

ていただいています。

そのような企業版関係人口の皆様からも企業版ふるさと納税を通じて多数の応援をいただいております。いただいた寄附を地域活性化、地域振興、高原町の発展のための財源として活用させていただきます。令和6年度は次の企業から多数の寄附をいただきました。公表について承諾をいただいている企業のみご紹介させていただきます。

◆ 寄附金の用途

頂いた寄附金は、町の発展のために次のような事業に活用しています。

『高原町を未来へ！ 企業版ふるさと納税で支える地方創生プロジェクト』



企業版関係人口づくり事業

町にゆかりある企業（企業版関係人口）に、高原町の課題解決や活性化の一翼を担っていただくための仕掛けや仕組みづくり

【具体的な事業案】

- ・企業版関係人口づくり推進協議会の活動
- ・体験型アクティビティ開発

温泉・サウナ環境向上事業

高原町の貴重な資源である温泉やサウナを活用し、『奥霧島温泉郷』としてのブランドイメージの確立と町への集客促進

【具体的な事業案】

- ・「奥霧島温泉郷」PR関連事業
- ・サウナ大使の委嘱



高千穂峰環境整備事業

『天孫降臨の地』『初代神武天皇御生誕の地』である日本発祥の地 高原町、高千穂峰を、町内外の方に楽しんでいただくための登山道を取りまくハード・ソフトの環境整備

【具体的な事業案】

- ・高千穂峰登山道整備
- ・レストハウス再整備



事業共創専門官
和田花織
Kaori Wada

みんなが活躍できる場を

- ①女性の活躍する機会づくり／特定地域づくり事業協同組合（※併任）／空き公共施設、空き家の活用プラン他
- ②(株) リクルート サステナビリティ推進室
- ③若い方や女性が高原町に住み続けたいように、町内で活躍できる場所を作っていきたいです。

〈令和7年度外部人材紹介〉
町民も知らない魅力を引き出す！

たかはるを支える7人

【紹介文について】

- ①高原町での主な業務 ②派遣元または勤めている企業 ③意気込み



高原町では近年、人口減少などの地域課題の解決や町の隠れた魅力の創出などを目指し、国の制度などを活用して県外企業に勤める方々を任用しています。今年度は新規3名、継続4名の計7名を任用しました。各人の得意分野で、高原町をより良くするための事業を進めていただきます。



物産開発専門官
宮田紗良
Sara Miyata

魅力ある地場商品を全国へ

- ①橘を使った特産品開発に向けた戦略策定・プロモーション・事業者支援／事業者の特産品開発や開発資金獲得の相談他
- ②(株) マクアケ プロジェクト推進本部セールス局 局長 九州拠点責任者
- ③橘に限らず、高原町ならではの資源を使った魅力ある商品開発・情報発信に伴走します。



雇用戦略専門官
飯田瑠己
Runa Iida

人手不足を解消したい

- ①町内でのスポットワークの掘り起こし／町内へのスポットワーカーの送り込み（おてつたび内広報発信）他
- ②(株) おてつたび 新規事業／連携チーム
- ③人手不足の事業者と、働きながら旅をしたい人を繋ぐ仕事をしています。今年度はまず高原町内での受け入れ準備を進めます。



広報戦略専門官
町田優依
Yui Machida

神話を通して高原愛を深く

- ①広報たかはるの構成・校正のアドバイス、特集記事執筆／町内観光地・資源に関する情報の統一化他
- ②(株) 一個人出版 雑誌『一個人』副編集長
- ③ 神武天皇のお話をはじめ郷土の文化・歴史を広報たかはるなどを通して改めて発信し、より多くの方に知ってもらいたいです。



会計年度任用職員
野田真也
Shinya Noda

子どもたちと自然を繋ぐ

- ①特産品づくりの支援／森育事業／児童への自然教育事業／バンザイサウナ候補地を活用した地域活性化プラン策定他
- ②エムトラスト (株)
- ③子どもたちの健やかな成長のために、町内の豊かな自然と触れ合う機会をつくりたい。そんな思いを持って取り組んでいます。



産業官民連携推進官
吉田雄人
Yūto Yoshida

高原町をもっと元気に

- ①企業版関係人口づくり／自治体間連携（樺原市・霧島市等）／温泉・サウナ等の地域資源の活用／高原町のブランディング他
- ②Glocal Government Relationz (株) 代表取締役
- ③国の制度等をうまく使って、高原町の活性化に取り組みます！



地域産業創生官
藤倉優一
Yūichi Fujikura

産業の担い手確保を目指す

- ①既存事業者のサポート／新規創業の支援／若者や女性にフォーカスした産業創生課の政策立案他
- ②ティーコム (株) CSR推進室 主任
- ③人口減少に対応すべく、農林水産業や商工業などの担い手を確保するための「特定地域づくり事業協同組合」の設立を目指します。

令和7年度職員体制

町 長 高 妻 経 信
副 町 長 横 山 安 博
教 育 長 西 田 次 良

総務課（直通 42-2112）

統括主監 末 永 恵 治
課 長 横 田 秀 二
課長補佐（行政担当）兼 南 健一郎
行政係長 東 一 樹
副 主 幹 今 西 光 大
主 査 早 野 由利加
主 査 山 下 杏 奈
財政係長 藤 本 淳 志
主 査 新 福 竜 太
主 査 林 史 弥
主任主事 山 下 未 紀
課長補佐（総括）兼 瀬戸山 幸 一
危機管理係長 石ヶ野 慎 也
副 主 幹 宮崎県庁派遣 中別府 宏 貴
宮崎県庁派遣 大 坪 由 良
宮崎県市町村振興協会派遣 中 嶋 秀 一
霧島ジオパーク推進協議会事務局派遣 中 村 真 琴
農林水産省派遣 末 永 貴 也
総務課付 原 田 朋 子
総務課付 小 城 大 和

総合政策課（直通 42-2115）

課 長 高野瀬 博 文
課長補佐 芝 田 和 之
企画政策係長 清 水 梨 那
（宮崎県交流職員）
主 査 古 川 一 将
主 査 平 部 真 也
デジタル推進係長（企画政策係兼務） 久保田 修 平
主任主事（企画政策係兼務） 二 宮 航 大

税務会計課（直通 42-2113）

（※会計室直通 42-2114）

会計管理者兼課長 中 嶋 雄 二
課税係長 六部一 智 久
副 主 幹 松 尾 一 成
主 査 高 原 太 郎
主 査 井 尻 詩 織
主任主事（徴収係兼務） 柴 内 雅 史
主任主事 末 山 香 織
徴収係長 上 山 順 司
主 査 山 内 翔 太
会計室長 山 路 富 志 子
主 査 中 川 裕 佳
主 査 磯 脇 めぐみ

町民課（直通 42-1067）

課長兼環境係長（事務取扱） 江 田 雅 宏
主 査 石 崎 宙 也
主幹兼住民係長 坂之下 ふじみ
主 査 徳 井 美由希

主 査 竹 田 善 彦
保険係長 山 路 昌 志
副 主 幹 岸 元 あずさ
主 査 瀬戸口 祥 平
主 事 吉 村 佳奈美

福祉課（直通 21-2422）

課 長 馬 場 倫 代
課長補佐 釜 眞由美
福祉係長 東 郷 啓 之
主 査 黒 木 智 也
主任主事 川 平 直 人
高齢者あんしん係長 小久保 隆 佳
主 幹 里 岡 百合子
副 主 幹 岡 元 貴 博
副 主 幹 山 路 直 樹
主 査 下 村 美 樹
主 査 大 迫 拓 也
主 査 瀬戸口 洋 介

養護老人ホーム峰寿園（直通 42-1336）

園 長 中 原 圭一郎
副園長事務代理 小 城 恵
副 主 幹 古 川 裕 子
副 主 幹 久保田 雄 一
主 査 曾 山 純 子

健康課（直通 42-4820）

課 長 中 村 みどり
課長補佐（総括）兼 今塩屋 博 子
健康推進係長 持 井 康
副主幹（福祉課高齢者あんしん係兼務）
副主幹（子育て支援係兼務） 古 市 亜由美
主 査（子育て支援係兼務） 新 福 裕 香
主任技師（子育て支援係兼務） 川 平 光 希
課長補佐（子育て支援担当）兼 清 永 加代子
子育て支援係長 清 永 加代子
副主幹（健康推進係兼務） 広 池 加奈子
主 査（健康推進係兼務） 桐 原 結 花
主 査 留 山 裕 伍
主任主事 長 友 将 伍

産業創生課（直通 42-2128）

課長兼官民連携推進室長 森 山 業
たかはるPR係長 江 南 智 玄
副 主 幹 唐 仁 原 美 和
主 査 田 原 雄 太 郎
主 事 押 領 司 尚 美
商工観光係長 眞 方 康 孝
副 主 幹 有 村 和 俊
主任主事 山 村 凱 斗
官民連携推進室室員 2 名（外部人材）

農政林務課（直通 42-5134）

課 長 中別府 和 也
課長補佐（農政企画担当）兼 田 原 修 司
農政企画係長

副 主 幹 石 山 直 美
主任主事（農林水産省交流職員） 上 條 智 絵
課長補佐（総括）兼 増 田 仁 志
林務係長 恒 吉 昌 晃
副 主 幹

農畜産振興課（直通 42-5132）

課 長 平 川 昌 知
課長補佐（農産園芸・畜産担当）兼 石 山 拓 磨
農産園芸係長 正 木 莉 奈
主 査 瀬戸山 博 文
畜産係長 鳥 集 悠 太
副 主 幹 原 賀 絢 都
主 事 田 中 伸一郎
課長補佐（総括）兼 下 村 裕 太
農村整備係長 東 優 汰
主 査 原 重 雄 大
主 事

建設水道課（直通 42-4959）

課 長 酒 匂 政 利
管理係長 小久保 祐 太
主 幹 上 野 早 百 合
主 査 西 亮 介
建設係長 金 丸 隆
副 主 幹 川 平 誠
主任主事 吉 元 翔 平
主 事 白 石 眺 毅
水道係長 古 川 潤 二
副 主 幹 宮 地 隆 行

議会事務局（直通 42-5138）

事務局長 平 真 樹
事務局次長 外 村 美保子
副 主 幹 小久保 さあや

農業委員会事務局（直通 42-5134）

事務局長（併任） 中別府 和 也
事務局次長（併任） 田 原 修 司
副主幹（併任） 石 山 直 美
副 主 幹 正 木 潤 一
主 査 榎 田 さや佳

国民健康保険高原病院（直通 42-1022）

病 院 長 池 田 直 徳
医 師 直 野 久 雄
主 幹 池 村 健 一
副 主 幹 福 岡 のり子
副 主 幹 塩 見 慎 吾
副 主 幹 高 石 亜沙美
副 主 幹 横 山 亜沙子
副 主 幹 相 村 崇 成
主 査 串 間 憂 也
主 査 松 元 英 里
看護総師長 古 川 裕 恵
看護師長 中別府 千 重
看護師長 梅 木 千 恵
副 主 幹 松 田 純 代
副 主 幹 東 浩 二
副 主 幹 新 福 浩 史
副 主 幹 松 崎 幸 子
副 主 幹 工 藤 陽 子

副 主 幹 井 口 かおり
副 主 幹 中 西 春 代
副 主 幹 園 田 智 美
副 主 幹 新 田 彩
副 主 幹 柞 木 誠
副 主 幹 金 丸 恵
副 主 幹 芝 香奈子
副 主 幹 藤 本 由加理
副 主 幹 釘 村 潤 作
副 主 幹 田 上 江 美
副 主 幹 五反田 竜 太
副 主 幹 北之園 直 明
主 査 永 田 武 士
主 査 鶴 田 静 香
主任技師 南 大 成
技 師 高 年 禮 春 佳
事務室事務長 外 村 英 樹
事務室事務次長 西 元 隆 太 朗
主 事 轟 木 聖 也

教育総務課（直通 42-1484）

課 長 田 中 博 幸
教育対策監 安 影 亜 紀
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進対策監 岸 元 誠 樹
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進室長（学校教育係兼務） 大 丸 晋 平
学校教育係長 山 下 浩 樹
指導主事 川 越 秀 樹
主 査 鳥 井 恭 兵
主任主事 瀬 戸 皓 太
課長補佐兼 寺 師 淳一郎
社会教育係長 高 尾 千 春
主 査（国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進室兼務） 留 山 貴 裕
主任主事 東 康 太
文化財係長（社会教育係兼務） 大 學 康 宏
主査（社会教育係兼務） 吉 元 伸 一

選挙管理委員会

書記長（併任） 横 田 秀 二
書記（併任） 南 健一郎
書記（併任） 東 一 樹
書記（併任） 早 野 由利加
書記（併任） 今 西 光 大
書記（併任） 山 下 杏 奈

公平委員会

主事（併任） 平 真 樹
主事（併任） 外 村 美保子
主事（併任） 小久保 さあや

固定資産評価審査委員会

書記（併任） 南 健一郎

監査

書記（併任） 平 真 樹
書記（併任） 外 村 美保子
書記（併任） 小久保 さあや

新規採用職員

令和7年度の新規採用職員を紹介します。今回、新たに6名が採用されました。



高原病院 給食室
高牟禮 春佳



健康課 健康推進係（子育て支援係兼務）
新福 裕香



産業創生課 たかはる PR 係
押領司 尚美



農政林務課 農政企画係
上條 智絵（農林水産省交流職員）



町民課 保険係
吉村 佳奈美



建設水道課 建設係
白石 昶毅

県からの派遣職員

令和7年度に宮崎県から1名の職員が派遣されて来られました。



教育総務課 指導主事
川越 秀樹

小中学校 校長

令和7年度の高原町内小中学校の校長先生を紹介します。今回、校長先生の異動はありませんでした。



高原中学校 校長
西岡 雅弘



後川内中学校 校長
中川 浩伸



高原小学校 校長
武田 透

退職者

令和7年3月31日退職された方は次のとおりです。

花牟禮 秀隆 中屋敷 一郎
海老原俊一郎 六部一沙矢香



広原小学校 校長
東 篤志



狭野小学校 校長
津曲 健



後川内小学校 校長
福山 憲昭

【官民連携推進室設置】

高原町の躍進を目指して ～官民連携で資源活用と活性化～

限られた財源と人材の中、高原町で官民連携を強化。総務省の地域活性化企業人制度や企業版ふるさと納税による外部人材を活用し、埋もれた地域資源を発掘し、商流の創出、関係・交流人口の増加を推進。令和7年4月1日、7人の推進官・創生官・専門官を配置し、産業創生課内に官民連携推進室を設立。地域のネットワークを駆使し、更なる本町の活性化を目指します。

神武天皇と高原町



主催：高原町地域づくり団体ネットワーク協議会

3月27日、ほほえみ館神武ホールにて、宮崎神宮の本部宮司による『神武天皇と高原町』と題して講演会が高原町地域づくり団体ネットワーク協議会主催により行われました。

会場は、厳かな雅楽の音色で幕を開け、宮崎神宮の巫女による優雅な舞は、参加者を古の時代へと誘い、特別な空間を創り出しました。

講演は、神武天皇と高原町の深いつながりについて、歴史的な背景や興味深い逸話を交えながら語られ、来場者は熱心に耳を傾けていました。

また、会場内では、宮崎神宮と狭野神社に奉納されているフランスのアーティスト、マークエステルさんの絵画が展示され、講演会に華を添えました。

300人を超える来場者で賑わった今回の講演会は、神武天皇と高原町の歴史への理解を深める貴重な機会となりました。雅楽の演奏や絵画展示など、多彩な催しを通して、参加者は地域の文化に触れ、豊かな時間を過ごしました。



神武天皇と高原の深きご縁

高原の地は、古より神武天皇との深いつながりを持つ、日本の源流とも言える場所でございます。道中の桜並木や『神武天皇と高原町』のポスターが、その歴史の重みを物語ります。私の故郷、新富町にも神武天皇ゆかりの伝承が残り、日向の地全体が初代天皇の足跡を伝える生きた博物館のようです。

高原の狭野神社は、神武天皇の御幼名である狭野命を祀り、その御本殿は宮崎神宮の旧本殿が移築されたもので、両社の深い繋がりを示唆します。神武天皇が高原で育ち、御聖徳を育まれたことは、この地の誇りであり、我々宮崎県民の宝です。この深きご縁を未来永劫に語り継ぐことが、我々の使命でございます。



記紀に語られない

日向神話の重要性

日本書紀は重要ですが、日向の地に根付いた独自の神話、伝承もまた重要です。神武天皇御船出の伝承や船出団子の物語、中山正實画伯の絵画などが、その生きた歴史を伝えます。新富町の湯之宮神社や座論梅、都農神社、立磐神社の伝承、『日本海軍発祥の地』の石碑など、日向には神武天皇にまつわる具体的な物語が数多く残ります。これらは、祖先の思いを知る貴重な手がかりであり、記紀に現れない日向の神話を大切に伝え継ぐことが、我々の責務でございます。

宮崎神宮と狭野神社の

密接な繋がり

宮崎神宮と高原の狭野神社は、地理的な近さを超えた深い繋がりを有します。宮崎神宮の御祭神・神武天皇は、幼少の頃、高原で狭野命と称されました。狭野神社はその御幼名を戴き、神武天皇を主祭神の一柱としてお祀りしています。この御社名こそ、両社の強い結びつきを示す証です。

特筆すべきは、明治四十年、宮崎



神宮の旧本殿が狭野神社に移築され、現存の御本殿となっている点です。これは単なる建物の再利用ではなく、両社が神武天皇という御縁で深く結ばれている象徴と言えるでしょう。

さらに、大正四年には狭野神社は宮崎神宮の別宮と定められ、時には宮崎神宮の宮司が狭野神社の宮司を兼務する時代もありました。これは、祭祀においても両社の一体性が重視されていたことを示唆します。

このように、御祭神、社殿、人事の面からも、宮崎神宮と狭野神社は不可分の関係にあります。神武天皇が高原で育まれた御聖徳が宮崎神宮創建の基盤となり、両社は共にその御心を今日の世に伝える使命を担っ

ています。今後も両社が連携し、神武天皇の御心を広く伝え、地域社会の発展に貢献していくことが重要です。

『日本の故郷 宮崎、日本発祥の地 高原』の意義

かつて宮崎県は『日本の故郷』と認識されてきました。「神武天皇御生誕の地こそ高原である」という事実も紛れもなく、記紀や伝承がそれを物語ります。高原の皆様には、この歴史的遺産を次世代へ確実に語り継いでいただきたいと願います。神武東遷のとき、日向の国の優秀な人々を家来として連れて行き、残された我々の先祖は、「神武天皇の第一次試験に受からなかった」という自虐的な言葉にも、日向の人々が御業を支えた誇りが示されています。『日本発祥の地 高原』は単なる言葉ではなく、この地が日本の歴史の始まりに深く関わる特別な場所である証です。この誇りを胸に、歴史と文化を守り、未来へ発展させることを心よりお祈り申し上げます。

防犯意識向上に向けて



3月24日、宮崎県生コンクリート協同組合連合会（木田正美会長）及び西諸地区コンクリート事業協同組合（西村賢一理事長）から、新小学1年生へ防犯ブザーの寄贈と3万円の寄附がありました。

これは、新入学生へ防犯の意識を高めようと毎年行われているものです。

子どもたちは、各自がランドセルに付けて防犯意識の向上に努めています。

高原、記憶のイマーシブ



2月22日から24日の3日間、狭野神社参集殿にて、高原町に残る国指定文化財を『映像』と『音』で味わう展覧会『高原、記憶のイマーシブ』が開催されました。

これは高原町に残る文化財の多言語解説動画製作の取組として、町内事業者の協力のもと、ツナガルたかはる、音楽事務所オフィス魂、ティーアンドエス、クリーク・アンド・リバー社、日本航空が企画しました。

町内外から3日間で約420名の来場者があり、文化財を多くの方に知っていただく機会になりました。

ヤマップ認定のインタープリター誕生！



3月28日、高原町の自然や文化の案内人（インタープリター）養成講座において、矢嶋映さんが、株式会社ヤマップより御池キャンプ村から小池の散策ツアーのインタープリターとして認定されました。この取組は、株式会社ヤマップの専属ガイドである“ヒゲ隊長”こと前田央輝ガイドのもと、高原町の自然や文化・伝統など地域資源を活かしたツアー造成のためのガイド育成を行っているものです。現在、新規候補生を募集していますので興味のある方はぜひご応募ください。

地域を守る力



3月24日、本町と社会福祉法人高原町社会福祉協議会が『高原町災害ボランティアセンターの設置及び運営等に関する協定』を締結しました。

この協定は、町内で地震、風水害等により大規模な災害が発生したときにおいて、高原町社会福祉協議会が設置する高原町災害ボランティアセンターの運営等に関し、町と高原町社会福祉協議会が相互に連携して、住民生活の早期復旧に資することを目的としたものです。

第48回高原町総合畜産共進会開催！



有限会社 松岡ファーム 松岡 隆史さん



清水 豊さん



肉村 由太郎さん

3月27日、4月4日の2日間、第48回高原町総合畜産共進会（枝肉の部・（株）ミヤチク高崎工場、種畜の部・高原畜産振興センター）が開催されました。

今回の共進会には、肉牛枝肉の部に24頭、乳用種牛の部に20頭、肉用種牛の部に69頭の合計113頭の出品がありました。

会場内では、地産地消と消費拡大の取組として、町内肥育農家が肥育された宮崎牛の販売と牛乳のふるまいも行われ、町内畜産農家、関係者が一堂に会する盛大な共進会となりました。

○審査結果（順不同・敬称略）

【肉牛枝肉の部 グランドチャンピオン】

『雅598』号（血統：美津秋×忠国桜×美穂国）

出品者：有限会社 松岡ファーム（花堂区）

【乳用種牛の部 グランドチャンピオン】

第3類『SWF エポ マーレン ピークジャガー』号

出品者：清水 豊さん（常盤台区）

【肉用種牛の部 グランドチャンピオン】

第3類『たつもも1』号（血統：桃白鵬×義美福×美穂国）

出品者：肉村 由太郎さん（蒲牟田区）

地域への新たな力、長年の支えに感謝



4月6日、高原町消防団の入退団式がほほえみ館神武ホールで挙行されました。

式では退団される7名の方に、これまでの間、地域の安心と安全のために献身的な努力をしていただいたことに敬意を表するとともに、今後の消防行政への支援をお願いしました。また、新たに入団された10名の方に、地域の安全を守るという誇りと責任を胸に刻み、日々の訓練や活動に励んでいただき、消防団活動を通じて仲間と共に絆を深め、地域社会に貢献する喜びを感じていただきたいと入団を歓迎しました。

表彰者、入退団者は次のとおりです。（順不同・敬称略）

○表彰者

日本消防協会会長表彰 精績章

第7部 団員 有馬 良一

○退団者

元中央部 部長 中武 利仁

元第2部 部長 森山 業

元第3部 班長 佐藤 克也

元第4部 班長 脇田 智明

元第5部 部長 永野 範浩

元第7部 部長 川崎 正和

元第7部 副部長 新地 洸佑

○入団者

本部 団員 花牟禮 秀隆

女性部 団員 今西 彩友香

女性部 団員 大迫 琴海

中央部 団員 岡元 貴博

第2部 団員 外村 仁

第3部 団員 稲留 光汰

第4部 団員 星山 和

第5部 団員 恒吉 昌晃

第7部 団員 花牟禮 漱平

第7部 団員 藤井 康輝

探求の成果『たちばな』の新たな可能性



小林高校探求学科コースの生徒たちが、地域に自生する『たちばな』の可能性を追求しました。福岡県の第一薬科大学との連携により、たちばなの皮に含まれるポリフェノールを抽出し、ハンドクリームを開発。

この研究で、『SDGs QUEST みらい甲子園 宮崎大会』決勝ラウンドに進出し、惜しくも受賞は逃しましたが、120を超える応募の中から高い評価を得ました。生徒たちは、今後もたちばなの新たな可能性を探る研究に挑戦していきます。

新たな視点と活力の集結！



4月1日、総務省の活性化起業人（副業型）の制度等を活用し、県外企業の多様な知見やネットワークを持つ7名の方を活性化起業人として委嘱しました。

今後、それぞれの専門性を活かし、本町の地域課題解決や新たな事業創出にご協力いただきます。副業という形で関わっていただくことで、柔軟な働き方を推進しつつ、外部の視点を取り入れることが可能となります。この取組を通して、本町の活性化と持続的な発展が期待されます。

スポーツ少年団 結団式で高らかに誓い



4月20日、町民体育館にて、令和7年度高原町スポーツ少年団結団式が行われ、新たなシーズンの幕開けを力強く宣言しました。

式典では、団を代表して大浦帆華（おおうらほのか）さん（少林寺拳法高原）が壇上に立ち、日本スポーツ少年団団員綱領を読み上げました。結団式の熱気をそのままに、参加者でドッチビーを楽しみました。子どもたちの歓声と笑顔が体育館いっぱいに広がり、異なる団の垣根を越えた交流は、友情を深める貴重な機会となりました。





『自分の健康は自分で守りましょう』 健康に関するわだいをお届けします

ほほえみ館通信

令和7年度 高原町こどもの健康カレンダー

令和7年4月1日～令和8年3月31日

赤ちゃん訪問	ブックスタート	無料フッ化物塗布												
【対象】 概ね生後1～2か月前後を目安に訪問します♪ 【内容】 ・赤ちゃんの様子（体重測定） ・お母さんの体調 ・育児の相談 ・予防接種や乳児健診等の案内	乳児健診時に、絵本をお配りしています♪ 【対象】 生後5～6か月 	歯にフッ化物を塗布し、虫歯になりにくい丈夫な歯をつくりましょう！ ★対象の方には 塗布券（はがき）を個別通知しておりますので、ぜひご活用ください。 												
乳児健診	1歳6か月健診	3歳6か月児健診												
【対象】 生後3か月～1歳1か月未満 【受付時間】 13：00～13：30 【場所】 ほほえみ館 和室 【持ち物】 母子健康手帳、タオル、おむつなど 【日程】 <table><tr><td>令和7年5月20日（火）</td></tr><tr><td>令和7年8月19日（火）</td></tr><tr><td>令和7年11月18日（火）</td></tr><tr><td>令和8年2月17日（火）</td></tr></table> ☆また、母子健康手帳交付時に、個別乳児健康診査助成券を1人につき2枚交付しております。 上記日程以外にも助成券を使用し、医療機関で健診を受診することができます。 1回目：生後6か月まで 2回目：生後7か月～11か月まで 	令和7年5月20日（火）	令和7年8月19日（火）	令和7年11月18日（火）	令和8年2月17日（火）	【対象】 1歳6か月～ 個別通知あり 【受付時間】 13：00～13：30 【場所】 ほほえみ館 和室 【持ち物】 母子健康手帳、問診表、着替えなど 【日程】 <table><tr><td>令和7年6月17日（火） R5. 9. 12～R5. 12. 17生</td></tr><tr><td>令和7年9月9日（火） R5. 12. 18～R6. 3. 9生</td></tr><tr><td>令和7年12月16日（火） R6. 3. 10～R6. 6. 16生</td></tr><tr><td>令和8年3月17日（火） R6. 6. 17～R6. 9. 17生</td></tr></table> 母子保健法で定められた健診です。本町では集団健診のみ実施していますので、忘れず受診してください。 	令和7年6月17日（火） R5. 9. 12～R5. 12. 17生	令和7年9月9日（火） R5. 12. 18～R6. 3. 9生	令和7年12月16日（火） R6. 3. 10～R6. 6. 16生	令和8年3月17日（火） R6. 6. 17～R6. 9. 17生	【対象】 3歳6か月～ 個別通知あり 【受付時間】 13：00～13：30 【場所】 ほほえみ館 和室 【持ち物】 母子健康手帳、問診表、検尿など 【日程】 <table><tr><td>令和7年4月15日（火） R3. 7. 22～R3. 10. 15生</td></tr><tr><td>令和7年7月15日（火） R3. 10. 16～R4. 1. 15生</td></tr><tr><td>令和7年10月21日（火） R4. 1. 16～R4. 4. 21生</td></tr><tr><td>令和8年1月20日（火） R4. 4. 22～R4. 7. 20生</td></tr></table> 母子保健法で定められた健診です。本町では集団健診のみ実施していますので、忘れず受診してください。 	令和7年4月15日（火） R3. 7. 22～R3. 10. 15生	令和7年7月15日（火） R3. 10. 16～R4. 1. 15生	令和7年10月21日（火） R4. 1. 16～R4. 4. 21生	令和8年1月20日（火） R4. 4. 22～R4. 7. 20生
令和7年5月20日（火）														
令和7年8月19日（火）														
令和7年11月18日（火）														
令和8年2月17日（火）														
令和7年6月17日（火） R5. 9. 12～R5. 12. 17生														
令和7年9月9日（火） R5. 12. 18～R6. 3. 9生														
令和7年12月16日（火） R6. 3. 10～R6. 6. 16生														
令和8年3月17日（火） R6. 6. 17～R6. 9. 17生														
令和7年4月15日（火） R3. 7. 22～R3. 10. 15生														
令和7年7月15日（火） R3. 10. 16～R4. 1. 15生														
令和7年10月21日（火） R4. 1. 16～R4. 4. 21生														
令和8年1月20日（火） R4. 4. 22～R4. 7. 20生														
育児学級														
【対象】 乳幼児とその保護者 【場所】 ほほえみ館 和室 【実施日・内容】 <table><tr><td>令和7年5月26日（月） 10：00～親子ヨガ</td></tr><tr><td>令和7年9月3日（水） 10：00～音楽リズム</td></tr><tr><td>令和8年1月14日（水） 10：00～親子ピクス</td></tr></table> 要予約 希望すれば身体計測もできるらしいわよ！ 	令和7年5月26日（月） 10：00～親子ヨガ	令和7年9月3日（水） 10：00～音楽リズム	令和8年1月14日（水） 10：00～親子ピクス	子育て支援センターに身長・体重計を設置しています。ぜひご利用ください♪ 成長・発達などお気軽にご相談ください♪ 										
令和7年5月26日（月） 10：00～親子ヨガ														
令和7年9月3日（水） 10：00～音楽リズム														
令和8年1月14日（水） 10：00～親子ピクス														

【お問い合わせ先】

健康課子育て支援係

☎ 21-2423

いっぺんっぺん高原

高千穂峰山頂避難小屋



去る4月19日に高千穂峰山頂避難小屋の元管理人石橋晴生さんに感謝状を贈らせていただきました。

最初の高千穂峰の山小屋は、大正14年頃に石橋晴生さんの祖父である石橋国次さんが開設されました。その後、二代目となる晴生さんの父利幸さん、そして三代目の晴生さんへと親子三代に渡り、宿泊事業を続けてこられました。宿泊登山者の減少などもあり、平成12年からは宿泊事業を休業され、高原町からの委託により避難小屋としての管理を続けてこられました。そして、山小屋が開設されてから100年目となる昨年の12月に晴生さんと高原町とで協議し、山小屋を高原町が譲り受け、避難小屋として管理を行っていくことになりました。

山されたり、昭和9年には高千穂峰を含む霧島山が日本で最初の国立公園「霧島山国立公園」に指定され、多くの登山者が高千穂峰を訪れるようになり、昭和14年頃から利幸さんも山小屋を手伝うようになったようです。昭和29年には台風により山小屋が全壊しましたが、宮崎県と高原町の補助を受け昭和32年に現在の山小屋が建設されました。雨水を利用する風呂や20人収容の宿舎を備え、当時の工事費は42万円となっています。山小屋の整備により「高千穂峰宿泊事業」として国の認可を得て正式に宿泊事業がスタートしました。初代峰守を40年間務めた国次さんが利幸さんに峰守を引き継いだ昭和40年代は空前の登山ブームの時期であり、昭和44年には高千穂峰に20万人の登山客があったとの記録があります。利幸さんは、多くの自然保護の功績が評価され昭和62年に藍綬褒章を受章されました。そして、

平成7年に晴生さんが三代目として利幸さんから峰守を引き継ぎました。

山小屋は、雷や天候が急変した際の避難所として、或いは登山者の休憩場所としての役割を果たしてきました。石橋家は、様々な時代の移り変わり、戦争、新燃岳噴火、台風など大変な苦勞をされながら山小屋を引き継いでこられました。

これから町が山小屋を避難小屋として引き継いでいくことになりませんが、石橋家の思いと共に安心して高千穂峰登山ができるよう管理していきます。

高千穂峰は、高原町民にとって「ふる里の山」であり、そして誇りでもあります。町では高千穂峰を始め、霧島山系への高原町側からの登山者を増やす計画を進めており、皇子原公園の登山基地としての整備、天孫降臨の道の整備、そしてガイドの育成を行っています。多くの登山者に天孫降臨などの神話・伝承に思いを馳せながら霧島山の豊かな自然に触れてもらいたいと思います。

三代で100年という長きに渡り高千穂峰の山小屋を守ってこられた石橋家のご功績に心からの敬意と感謝を申し上げます。

さかほこ高原俳句会

五月号



高原

霞なる社の岩に白いへび

横田 修

宝鐸草家族増やして蕾つく

内村 登志美

窓拭きて透きとおる空夏気配

入佐 典子

探しだす現の証拠のピンク色

田中 廣子

新緑を抜けし鴉の声かわく

岩崎 富美子

花粉症研となりし大くしやみ

小村 明子

料亭の千本格子花菖蒲

今西 由美子

水替へて出目金の目のよく動く

坂元 孝徳

高千穂峰をかくす青葉や日の光

佐土原 武幸

筍を持ち来る友のありがたし

中園 直子

出水期への備え

まもなく出水期を迎えます。出水期に向けた準備はお済みでしょうか。

防災気象情報などの情報取得に注意を払いながら、危険だと感じる場合は迷わず避難を行いましょう。

大雨が発生した際には、町が大雨の状況等を見ながらその都度避難所を指定して避難所を開設します。(エリアメールやテレビなどでお知らせします。)また、町が指定して開設する避難所以外にも、安全な親戚・知人宅への避難を行う、地域で独自に安全な避難場所を設けるなどの方法もあります。

【大雨警報】…大雨により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたとき発表されます。大雨警報には、土砂災害、浸水害があり、特に警戒すべき事項が明記されています。

項が明記され、警戒レベル3に相当します。

【土砂災害警戒情報】…土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに対象となる地域を特定して警戒を呼び掛ける情報です。県と気象台が共同で発表します。この情報が出たら特に注意が必要となり、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。

【大雨特別警報】…大雨が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きい時に発表されます。大雨特別警報には、土砂災害、浸水害があり、特に警戒すべき事項が明記されています。災害が発生または切迫している状況であり、命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保する必要があることを示す警戒レベル5に相当します。

現在、各メディアから様々な情報の取得が可能となっています。常に最新の気象情報を取得して災害に備えていただくようお願いいたします。

万が一異常現象を発見した場合は、役場総務課危機管理係へご連絡ください。 ☎42-2112

「高原町メールサービス」では、防災関連情報をメール配信しています。

下記の URL に空メールを送るか、右記の QR コードを読み取る事で、登録することができます。

町民の皆さんの登録をお願いします。

URL:t-takaharu@sg-p.jp(空メールをお送りください。)



～ 国民健康保険人間ドックの 事前申込みのお知らせ ～

令和7年度国民健康保険人間ドックの事前の申込みを受け付けています。人間ドックは、検査項目が数多くあり健康状態を詳細にわたって把握できますので対象者の皆さまにおかれましては、是非、この機会を御利用のうえお申込みください。

○対象者

35歳から74歳までの高原町国民健康保険加入者の方

○健診期間

令和7年6月2日(月)～令和8年1月31日(土)

※川井田医院は、

令和7年6月2日(月)～令和8年3月31日(火)

○医療機関

令和7年度高原町健(検)診案内を参照ください(5月下旬発送予定)。西諸管内の指定医療機関になります。

○自己負担額 7,000円

※国民健康保険人間ドックの受診歴がない方は、無料です。

○申込期限 4月15日(火)～5月14日(水)

○申込方法

上記申込期限の間は、ほほえみ館来館及び健康課への電話での申込みのいずれかの方法でお申込みいただけます。

※お手元に国民健康保険被保険者の資格確認ができるいずれかのもの(マイナンバーカード(マイナ保険証)と資格情報のお知らせ、資格確認書、有効期限が有効である紙の保険証)をご用意頂き、お電話又はご来館ください。

※お電話での申込みの場合は、後日お届けする申込書の提出が必要です。

○注意事項

事前申込受付終了後の随時受付は、6月再開予定です。

お問い合わせ先

健康課 健康推進係 ☎42-4820

お知らせ

マイナンバーカード

休日の窓口開設

仕事や学業などで、平日に窓口へ来られない方のために、次の日程で休日の窓口開設を実施します。

【5月の休日開庁】

※事前予約が必要

○日時 5月25日(日)

午前8時30分～午後4時30分
(正午～午後1時を除く)

○場所 高原町役場1階

町民課住民係

○予約締切日 5月21日(水)

午後5時まで

※定員になり次第、予約を締め切らせていただきます。

○注意事項

・休日開庁については予約制です
ので、必ず事前にご連絡ください。
事前予約が0件の場合、開庁しません。

・正面玄関は施錠されているため、
役場西側(小学校側)から入ってください。

・窓口ではマイナンバーカードに
関する手続きのみ受け付けます。各

種証明書の発行や住民異動届は
受け付けできません。

・15歳未満の方の手続きは、法定代理人の付き添いが必要です。本町のシステムにて同一世帯の続柄が確認できない場合は、法定代理人と本人の関係を確認できる戸籍謄本が必要となります。

◎お問い合わせ先

町民課住民係

☎ 42-1067



転出届・転入予約は

マイナポータルで

マイナンバーカードを所有している人は、マイナポータルからオンラインで転出届および転入予約(来庁予定の連絡)ができます。詳しくは、デジタル庁ホームページをご覧ください。

※マイナポータルを通じて転出届の提出をした後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届等の手続きが必要です。

◎お問い合わせ先

町民課住民係

☎ 42-1067



マイナンバーカード及び

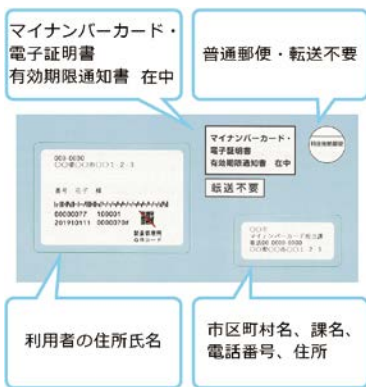
電子証明書の更新

マイナンバーカードには、カード本体の有効期限(発行日から10回目の誕生日まで(未成年者は5回目))とカードに搭載された電子証明書の有効期限(年齢問わず発行日から5回目の誕生日まで)と2種類あります。いずれも有効期限を迎える方に対し、有効期限の2～3か月前を目途に有効期限通知書が送付されます。

更新にかかる手数料は、無料です。有効期限前に更新の手続きをお願いします。

詳しくは高原町ホームページをご覧ください。

※送付用封筒のイメージ(水色の封筒)



◎お問い合わせ先

町民課住民係

☎ 42-1067



えびの自衛隊創立44周年

記念事業について

えびの駐屯地は、創立44周年記念行事を開催します。記念行事は、2部構成により、2日間行います。ぜひご覧ください。

【第1部】

○日時 5月24日(土)

午前10時～午後2時

○場所 県道飯野停車場線

(Aコープいいの店から鹿児島銀行えびの支店まで)

○内容

第8音楽隊等演奏、市中パレード、
装備品展示

【第2部】

○日時 5月25日(日)

午前9時～午後3時

○場所 えびの駐屯地

○内容

観閲式・観閲行進・観閲飛行、音楽演奏、戦闘訓練展示、太鼓演奏、野外売店、装備品展示、ミニ制服試着等、陸・海・空、体験搭乗等
※天候等により一部変更や中止となる場合があります。

◎お問い合わせ先

えびの駐屯地広報室

☎ 33-3904

戸籍の

振り仮名制度について

令和7年5月26日に改正戸籍法が施行され、戸籍の記載事項に氏名の振り仮名が追加されます。同日以降、本籍地の市区町村長から、戸籍に記載される予定の振り仮名が通知されますので、誤りがないか必ず確認してください。

通知の振り仮名が正しいときは、届出をしなくても通知のとおり戸籍に記載されますので、ご安心ください。振り仮名が誤っていた場合は、令和8年5月25日までにマイナポータル、市区町村窓口、郵送のいずれかの方法で氏名の振り仮名の届出をお願いします。

振り仮名の届出に手数料はかかりません。また、届出をしなくても、罰則や罰金はありませんので金銭

を支払うようにといった詐欺にご注意ください。

詳しくは、法務省のホームページをご覧ください。

<https://www.moj.go.jp/MINJI/furigana/index.html>

◎問い合わせ先

高原町戸籍振り仮名制度専用
080・2096・4200
午前9時～午後5時
(土日祝日を除く)

募集

復職支援研修を開催

宮崎県看護協会では、県の委託

を受け、看護職の再就業支援のために復職支援研修を開催します。

◎受講資格

- ・未就業の保健師・助産師・看護師・准看護師で受講後の再就業に意欲的な方
- ・再就業しているが、未就業期間が長期で受講を必要としている看護職員

◎参加料 無料

◎申込方法

宮崎県看護協会の研修管理システム『manable(マナブル)』より申し込み。

◎問い合わせ先

公益社団法人宮崎県看護協会
ナースセンター
☎0985・58・4525

音訳ボランティア養成講座 受講生募集

宮崎県立視覚障害者福祉協会は、小林・えびの・高原地区において令和7年度音訳ボランティア養成講座の受講生を募集します。

◎内容

視覚障害者にパソコン録音で本、広報紙、議会便り等の情報提供するボランティア活動です。

◎対象

- ・講習終了後にボランティア活動が可能なる方
- ・パソコン操作ができる方

◎講習期間

5月～令和8年3月まで
第2・4土曜日

午後1時30分～午後3時30分

◎受講料 無料(テキスト代実費負担)

◎場所

小林市社会福祉センター

◎開校式

5月10日 午後1時30分

小林市社会福祉センター

◎申込締切

5月10日開校前日まで

◎申込み・問い合わせ先

小林市社会福祉センター
☎23・3466





オススメ新着本

「事故物件 怖い間取り」

著 者 松原 タニシ 出版社／二見書房



「事故物件」いわゆる殺人事件などが発生した家や土地を指しますが、この用語をここまでメジャーに押し上げたのが、この松原タニシさん。番組内の「事故物件に住む」という一企画で、たまたま仕事

がなかったタニシさんが、「事故物件住みます芸人」として実際に住んだ、その記録集です。タニシさんの身にも、カメラの顔認証に反応しない、電話口で始終女性の声が聞こえる等々不可思議な現象が発生しました。2020年には亀梨和也さん主演で映画化されました。

その他の新刊

- 『新米占い師はそこそこ当てる』（きりしま志帆、集英社）
※きりしま志帆さんは、えびの市出身の作家です。
- 『おいち不思議がたり』シリーズ（あさのあつこ、PHP研究所）
- 『迷惑な終活』（内館牧子、講談社）
- 『呪術講座 入門編』（加門七海、KADOKAWA）

お知らせ

図書の貸出期間は2週間となります。期限内返却をお願いします。

また、返却時に水濡れ等の汚損や破損があった場合は、弁償していただくことになります。あらかじめご了承ください。

●中央公民館図書室

開室時間 平日 8:30～17:00 休日 10:00～16:00

5月の閉室日 3日(土)～6日(火)、18日(日)

6月の閉室日 なし

※急遽、休みになる場合がございます。ご了承ください。

●お問い合わせ先

教育総務課社会教育係

☎42-1484



|| 寄付 || 社会福祉協議会へ3月受付分



香典返し（敬称略）

【遺族】	【続柄】	【故人】	【地区名】
曾山 洋子	夫	良蔵	湯之元区
大山 孝之	母	セキ子	下後川内区
宮永 吉郎	母	トネ	祓川区
下東 純子	母	フヂ子	祓川区
森山イツ子	夫	巧	並木区
入佐 睦子	夫	重男	西広原区

善意の寄付

高原町文化連盟

宮崎高原町友会

☆ありがとうございました。

|| 110番
だより ||

3月の交通事故発生状況

人身	2	年計	5
物損	6	年計	30

警察署なりすまし電話に注意！！

実在する警察署番号が表示される不審電話が急増しています。警察官をかたって、捜査名目で金銭をだまし取ろうとする新手の特殊詐欺です。

警察官を名乗る犯人は、「あなたの口座が犯罪に利用されている」「あなたの携帯電話が犯罪に利用されている」「あなたは逮捕される」などと不安をあおり、資産状況を聞いてきます。

被害にあわないために

- 警察署の電話番号からの着信であっても…
相手の名前や部署、内線番号を確認しましょう
電話を切って、警察に相談しましょう
- 電話でお金のお話が出たら詐欺を疑いましょう

不審に思ったりトラブルに遭った場合は、警察安全相談又は最寄りの警察署にご連絡ください。

●お問い合わせ先

警察安全相談 ☎#9110 小林警察署 ☎23-0110

|| 119番
だより ||

3月の出動状況

火災	3	年計	7
救急	40	年計	125

3月中、高原町で3件の火災がありました。

火の取り扱いには十分注意しましょう。

|| 人口の動き ||

町の現住人口		前月比	前年同月比
総人口（人）	7,821	-33	-159
男（人）	3,697	-12	-86
女（人）	4,124	-21	-73
世帯数（世帯）	3,594	2	-16

現住人口調査

令和7年4月1日現在

転入	29	出生	3
転出	47	死亡	18





5月のカレンダー

神武の里

日 曜	内 容	場 所	時 間	担当課
8 木	教育委員会定例会	中央公民館	9:30 ~	教育総務課
	健幸運動教室(ヨガ)	ほほえみ館	10:00 ~ 11:00	健康課
	トレーニングコース	ほほえみ館	18:00 ~ 21:00	健康課
9 金				
10 土	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00 ~ 18:00	健康課
11 日				
12 月	古紙リサイクルの日	もやせるごみ 収集地区の 各ごみ集積所	8:30まで	町民課
13 火	古紙リサイクルの日	もやせるごみ 収集地区の 各ごみ集積所	8:30まで	町民課
	母子健康手帳交付	ほほえみ館	9:30 ~ 11:30	健康課
	トレーニングコース	ほほえみ館	18:00 ~ 21:00	健康課
14 水	廃プラリサイクルの日	各ごみ収集所	8:30まで	町民課
15 木	古紙リサイクルの日	もやせるごみ 収集地区の 各ごみ集積所	8:30まで	町民課
	健幸運動教室(ヨガ)	ほほえみ館	10:00 ~ 11:00	健康課
	トレーニングコース	ほほえみ館	18:00 ~ 21:00	健康課
16 金	古紙リサイクルの日	もやせるごみ 収集地区の 各ごみ集積所	8:30まで	町民課
17 土	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00 ~ 18:00	健康課
18 日				
19 月				
20 火	生涯学習講座開講式・ 講話	ほほえみ館 中研修室	9:30 ~ 11:00	教育総務課
	健幸運動教室(体操)	ほほえみ館	10:00 ~ 11:00	健康課
	トレーニングコース	ほほえみ館	18:00 ~ 21:00	健康課
	乳児健診	ほほえみ館 和室	13:00 ~ 13:30 受付	健康課
21 水	廃プラリサイクルの日	各ごみ収集所	8:30まで	町民課
22 木	健幸運動教室(ヨガ)	ほほえみ館	10:00 ~ 11:00	健康課
	トレーニングコース	ほほえみ館	18:00 ~ 21:00	健康課
23 金				

日 曜	内 容	場 所	時 間	担当課
24 土	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00 ~ 18:00	健康課
25 日				
26 月	生涯学習講座 (読み聞かせ)	宮崎県社会 福祉協議会	8:30 ~	教育総務課
27 火	母子健康手帳交付	ほほえみ館	9:30 ~ 11:30	健康課
	セルフ足裏マッサージ 講座(要予約)	ほほえみ館	10:00 ~ 11:00	健康課
	トレーニングコース	ほほえみ館	18:00 ~ 21:00	健康課
28 水	廃プラリサイクルの日	各ごみ収集所	8:30まで	町民課
29 木	健幸運動教室(ヨガ)	ほほえみ館	10:00 ~ 11:00	健康課
	トレーニングコース	ほほえみ館	18:00 ~ 21:00	健康課
30 金				
31 土	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00 ~ 18:00	健康課

6月のカレンダー

1 日	美化センター臨時 稼働日	霧島美化 センター	8:30 ~ 12:00	町民課
2 月				
3 火	健幸運動教室(体操)	ほほえみ館	10:00 ~ 11:00	健康課
	トレーニングコース	ほほえみ館	18:00 ~ 21:00	健康課
4 水	もやせないごみの日	各ごみ集積所	8:30まで	町民課
	皇子原学園(議会傍聴)	役場議場	10:30 ~	教育総務課
5 木	皇子原学園(議会傍聴)	役場議場	10:30 ~	教育総務課
	健幸運動教室(ヨガ)	ほほえみ館	10:00 ~ 11:00	健康課
	トレーニングコース	ほほえみ館	18:00 ~ 21:00	健康課
6 金	生涯学習講座 (ディップアート)	中央公民館	9:30 ~ 11:30	教育総務課
7 土	生涯学習講座(書道)	中央公民館	10:00 ~ 11:30	教育総務課
	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00 ~ 18:00	健康課

今月は、固定資産税(1期)、
軽自動車税(全期)の納期です。

編集後記

新緑がぐんぐん伸びる5月、風も心地よく、外に出かけたくなる季節ですね。こいのぼりのように、気持ちもグンと空へ飛ばしたくなる頃です。(はい?)

さて、今月号「あれ? シンプルになった?」と思った方、鋭いです! 今月号から、表紙と裏表紙以外は一色になりました。

でもご安心を。ホームページではカラー版を公開中ですので、ぜひそちらで色のある世界をお楽しみください。

そしてもう一つ、広報担当に大きな風が吹きました。

長く誌面を支えてくれた編集長が、この春、異動となりました。新しい体制でのスタートに少し不安もありますが、前を向いて進んでいけたらと思います。

こいのぼりのように、少しずつでも上を目指していけたらと思います。

Yu 太郎

カラー版はホームページでご覧になれます←



高原町ホームページ
QRコード



高千穂峰 峰守

石橋 晴生 さん

4月19日、皇子原公園レストハウス(奥霧島皇子原ヒュッテ)において、石橋晴生さん(北狭野区)への感謝状贈呈式を行いました。

石橋さんは、祖父の国次さんが山小屋を開設されて以降、親子3代にわたって高千穂峰山頂に峰守として宿舎事業を営まれました。山小屋閉鎖以降は山頂避難小屋として管理保全に尽力され、多くの登山愛好家の安全確保に貢献されたその功績に敬意を表し、町長より感謝状が手渡されました。当日は、石橋さんより峰守石橋家と山小屋との思い出や体験談のお話をいただき、参加者は、その貴重な話に熱心に聞き入っていました。



藤倉真理 さん・幸満 さん・優一 さん



高原町地域産業創生官の藤倉優一さんの奥様である真理さんより、高原町のマスコットキャラクターたかぼー・はるちゃん、町鳥ぶっぼうそうの手作りぬいぐるみを寄附いただきました。ひとつひとつ丁寧に作られたぬいぐるみは、見ただけで笑顔になれる優しさに溢れています。



また、真理さんは、『takaharufandesu』というInstagramで高原町の魅力発信もしてくださっています。

いただいたぬいぐるみは、役場窓口に大切に展示されています。また、町内外へ高原町をPRする際にも活用させていただいています。

藤倉さんのあたたかなご厚意に心より感謝申し上げます。



高原町のSNSをぜひご覧ください！

暮らしに役立つ情報の他、観光、商工業などのルンルンと楽しくなるような高原町のスポットや食べ物、イベントなども発信しています！

